

第1回 「オリエンテーション」

- 担当者: 河野 稔 (かわの みのもる) 健康システム学科 准教授

- Web: <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/>

- E-mail: mkawano@ed.hyogo-dai.ac.jp

- ゼミ生の自己紹介

- 簡単な自己紹介と抱負を話してもらいます

ゼミの進め方

ゼミ（ゼミナール）形式の授業の一番の特徴は、**少人数でテーマについて資料を講読したり、報告したり、議論をすること**です。つまり、講義のように教員からの一方向の学習ではなく、教員と学生や学生同士の双方向の学習になります。

次のような内容に取り組んでもらう予定です。

- 大学での学習のための基礎知識と学習スキルを習得する
 - ノートの取り方、文献・資料の探し方、文献の要約（書評）、引用の仕方
 - レポートの書き方、発表（プレゼンテーション）の方法
- ペアやグループを作って、自由に意見を出しあって、問題点や解決策を見つけ出す
- 自分が調べたこと／まとめたことを説明／発表する
- 他の人の説明／発表に質問したり自分の意見を述べる

このゼミのテーマの基礎知識

情報モラル：情報化社会の光と影

- 情報化社会の現状
 - インターネットが生活の一部に：携帯電話の契約数は1億2千以上（2012年2月末現在）
 - インターネットが既存のメディアに迫っている（例：広告効果はテレビや新聞に次ぐ）
- 光の側面
 - ブログ、SNS、Twitter、Facebookなどで誰もが情報を発信できる（総表現者社会）
 - 大勢の個人の知識を集約できる（群衆の叡智、例：ウィキペディア）
 - 手軽に専門知識を得たり専門スキルを修得できる（知識の高速道路）
- 影の側面
 - 情報漏えい、誹謗中傷、有害情報、迷惑メール（精神的な被害）
 - 知的財産権の侵害、売買のトラブル（経済的な被害）
 - 名誉毀損、違法／危険物販売、ネット詐欺、コンピュータウイルス（犯罪による被害）
- 情報化社会を支える三本柱
 - 技術：情報技術による対策（フィルタリング、バイオメトリックス：生体認識、等）
 - 規制：法律の整備（不正アクセス禁止法など）、警察による監視、民間の自主規制
 - 倫理：個人の自覚・自律を高める（情報教育、啓蒙活動）

参考文献

- 情報教育学会 情報倫理教育研究グループ編「インターネット社会を生きるための情報倫理 2012」, 実教出版 (2012.02).
- 情報教育学会 情報倫理教育研究グループ編「インターネットの光と影 Ver.4」, 北大路出版 (2010.01).

授業計画

回	日付	テーマ	キーワード
第1回	4月9日（水）	オリエンテーション	自己紹介
第2回	4月16日（水）	資料の収集	図書館の利用、資料・文献の検索
第3回	4月23日（水）	学習のスキル	学習スキル、ノートテイキング
第4回	5月7日（水）	学習活動の基礎知識（1）	発想支援、マインドマップ
第5回	5月14日（水）	学習活動の基礎知識（2）	情報収集、検索サイト
第6回	5月21日（水）	文章の書き方（1）	基本的な文章の書き方
第7回	5月28日（水）	学習活動の基礎スキル（1）	クリティカル・リーディング
第8回	6月4日（水）	文章の書き方（2）	論理的な文章
第9回	6月11日（水）	学習活動の基礎スキル（2）	要約、書評
第10回	6月18日（水）	演習課題への取り組み（1）	KJ法、ブレインストーミング
第11回	6月25日（水）	演習課題への取り組み（2）	テーマの選択
第12回	7月2日（水）	学習成果の表現方法	レポートの構成、引用、参考文献
第13回	7月9日（水）	成果の発表（1）	レポートの提出
第14回	7月16日（水）	成果の発表（2）	口頭発表（プレゼンテーション）

- 第2回（4月17日）は図書館ツアーの予定（60分程度）。
- 第6回（5月15日）と第9回（6月5日）は学習支援センターと協同して説明。

次回の予定

- 2つのゼミ合同で、図書館ツアーを実施（情報メディアセンターによる説明）
- 集合：5号館図書館前に、9:00 集合